

九州高速バスネットワークを生かした共同予約システム導入による公共交通利用促進実験 (実施期間 平成 16 年度～17 年度)

[背景と目的]

九州では、高速道路の延伸に合わせて、各県主要都市間を結ぶ高速バス路線が新設、ネットワークが形成されてきており、輸送人員も堅調に推移してきた。しかし、従来からバス予約については、高速バス利用者がバス会社毎に予約を行う必要があり、さらに、高速バスの乗り継ぎ利用についても、手作業で行われる一部区間についての予約を除いては、実施されていなかった。

今回の実証実験では、九州の高速バス会社各社による共同予約システムを構築、同システムを活用し、九州一円の高速バスネットワークを活かした乗り継ぎ予約・インターネット予約・コンビニエンスストアでの乗車券発券を行うとともに、割安な乗り継ぎ運賃、北部九州を一定期間、割安な均一運賃で乗ることが可能な九州高速バスフリーきっぷを設定し、マイカーから高速バスへの利用転換を図ることを目的とする。

[実施主体]

九州高速バス予約システム運営委員会（構成員）11 社

昭和自動車(株)、西肥自動車(株)、九州急行バス(株)、大分バス(株)、大分交通(株)、亀の井バス(株)、宮崎交通(株)、長崎県交通局、九州産業交通(株)、西鉄高速バス(株)、西日本鉄道(株)

[実証実験概要]

九州一円の高速バスネットワークを活かした乗り継ぎ予約・インターネット予約・コンビニ発券に対応した共同予約システムを構築し、割安な乗り継ぎ運賃、九州高速バスフリーきっぷを設定する。

1. 共同予約システム

高速バスの予約・利用が簡単に

高速バスの乗り継ぎ予約が、運行会社だけでなく実験に参加するすべてのバス事業者の窓口で可能になるほか、インターネットでも手軽にできるようになる。また、コンビニエンスストアでも乗車券発券が可能になり、手軽に高速バスを利用できるようにする。

また、新設した北部九州エリアフリー乗車券利用の際、乗車を予定している複数路線の予約が一度にできる。

2. 高速バス九州フリーきっぷ

北部九州（長崎・佐賀・福岡・大分・熊本）内を結ぶ高速バス路線全線を一定期間割安な運賃（3 日間 8,000 円程度）で自由に乗降できる「高速バス九州フリーきっぷ」を新設する。

また、九州域外からの利用者に対して夜行高速バスや航空機とのセット割引や、海外からの観光客向けの商品の検討を行う。

3. 実証実験乗り継ぎ割引

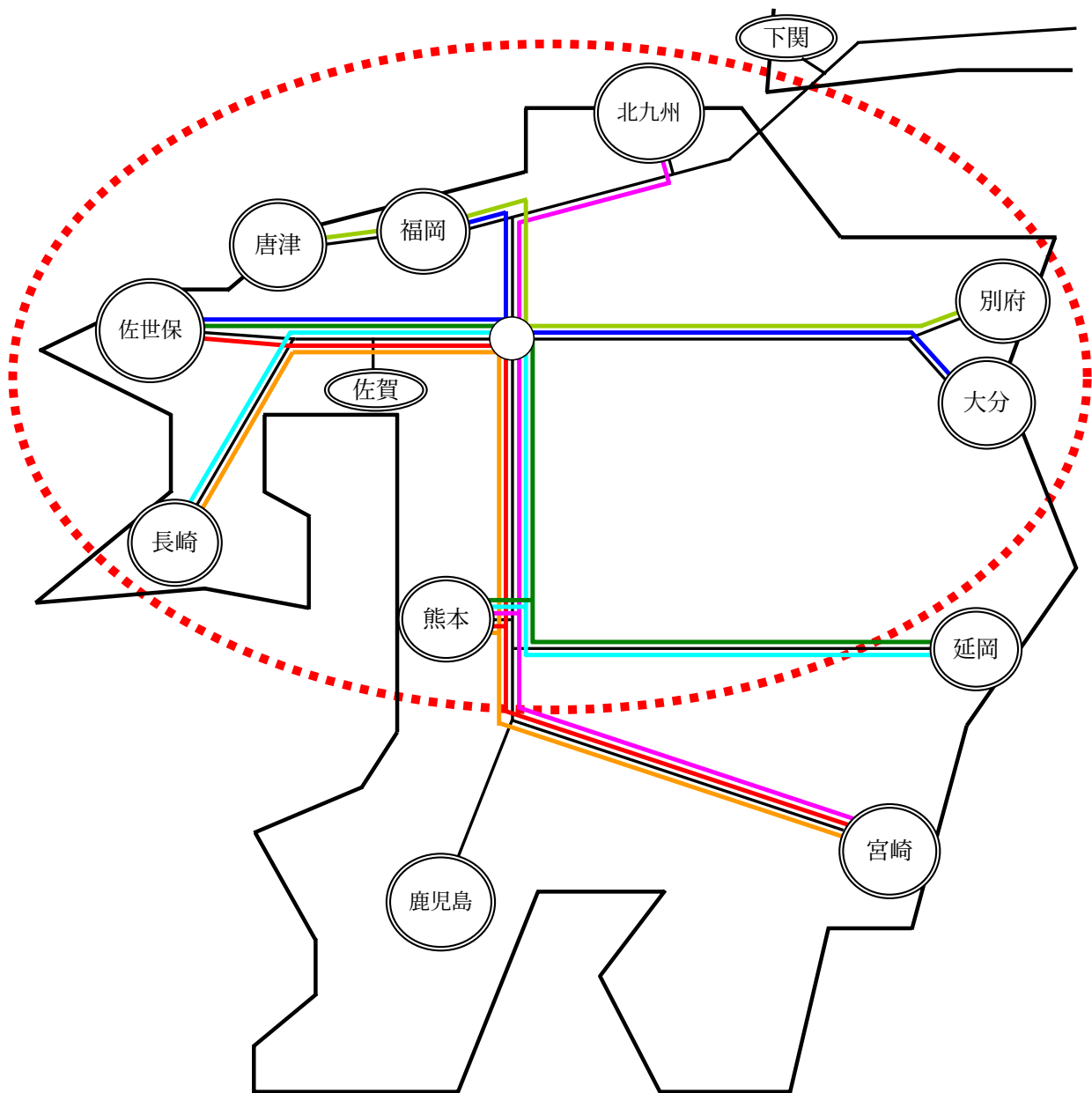
割安な価格で乗り継ぎ利用可能な 7 区間を設定。また、乗り継ぎ利用期間を 2 日以内として幅を持たせることにより、ビジネス・観光などお客様の目的に応じて利用できる。

乗り継ぎ区間	通常運賃	乗継割引運賃	割引率
宮崎市～（熊本交通センター）～佐世保市	7,700	4,700	39%
宮崎市～（熊本交通センター）～長崎市	8,100	5,000	38%
延岡市～（熊本交通センター）～佐世保市	6,700	4,000	41%
延岡市～（熊本交通センター）～長崎市	7,100	4,300	39%
大分市～（天神バスセンター）～佐世保市	5,300	4,500	15%
唐津市～（天神バスセンター）～別府市	4,100	3,500	15%
宮崎市～（熊本交通センター）～北九州市	7,700	6,250	19%

[効果測定方法]

- ・地点 九州の玄関口である福岡「天神バスセンター」発着の高速バス路線の輸送人員
- ・時期 共同予約システム稼働後全日

九州高速バス ネットワーク図



凡 例

(乗り継ぎ区間)

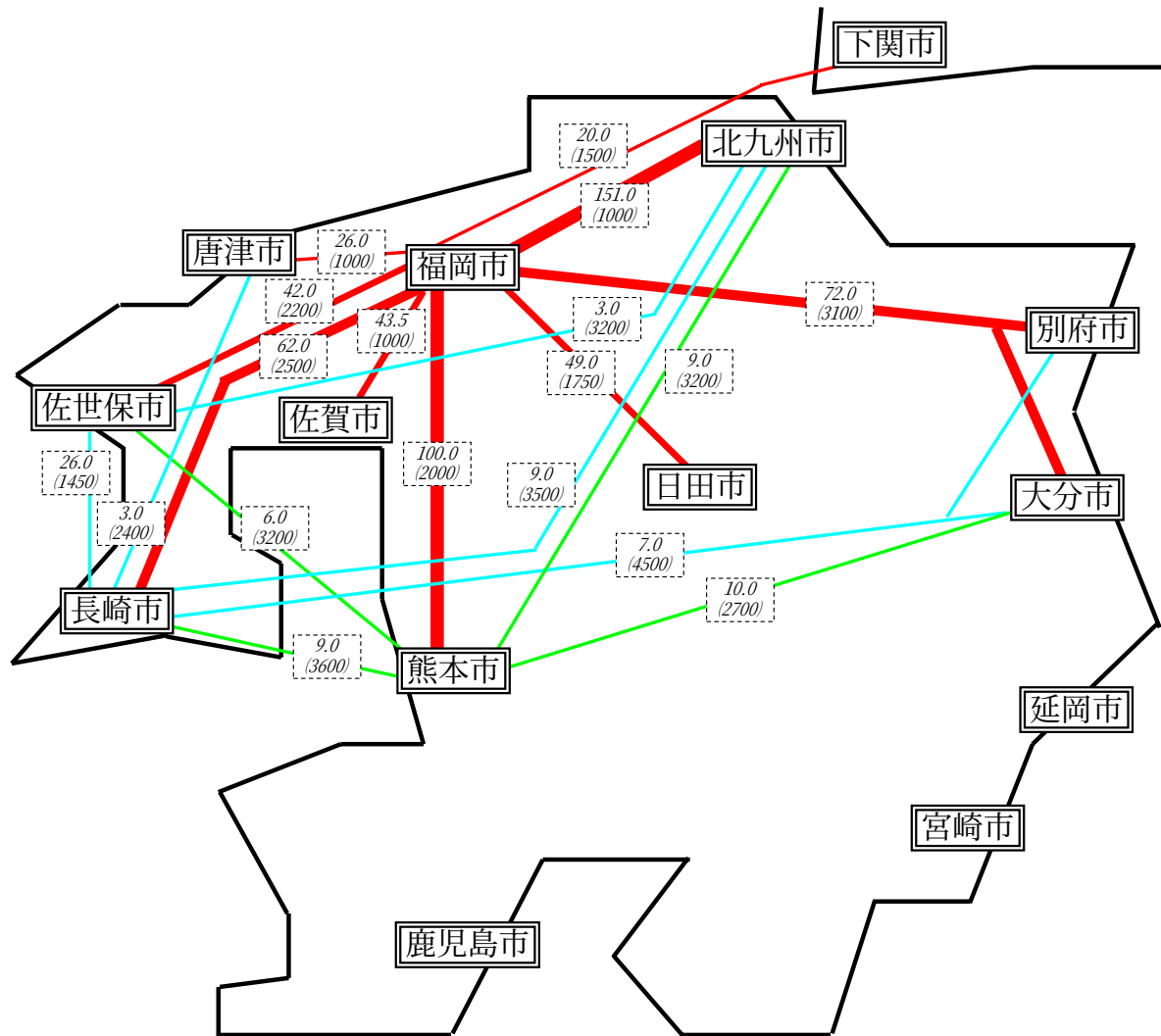
(運行便数)

(ア)	—	宮崎～熊本～佐世保	宮崎～熊本	24 便	熊本～佐世保	12 便
(イ)	—	宮崎～熊本～長崎	宮崎～熊本	24 便	熊本～長崎	18 便
(ウ)	—	延岡～熊本～佐世保	延岡～熊本	6 便	熊本～佐世保	12 便
(エ)	—	延岡～熊本～長崎	延岡～熊本	6 便	熊本～長崎	18 便
(オ)	—	大分～福岡～佐世保	大分～福岡	96 便	福岡～佐世保	84 便
(カ)	—	宮崎～熊本～小倉	宮崎～熊本	24 便	熊本～小倉	18 便
(キ)	—	唐津～福岡～別府	唐津～福岡	52 便	福岡～別府	32 便
	—	主な直通路線				



九州高速バスフリーきっぷ
対象エリア

(参考) 北部九州エリアの主要高速バスネットワーク



凡 例

—	福岡市を起終点とする路線
—	熊本市を起点とする路線
—	長崎・佐世保市を起終点とする路線
—	平日運行回数100回以上
—	50回～99回
—	30回～49回
—	30回未満